

令和5年度 第1回 松江市立皆美が丘女子高等学校運営協議会 会議録

- 1 日 時 令和5年5月30日（火） 10時00分～11時10分
- 2 場 所 松江市立皆美が丘女子高等学校 応接室
- 3 出席者
 - (1) 委 員 大谷みどり会長、渡部知和副会長、池田太持委員、坂根千歳委員、鷗鷗 順委員
 - (2) 事務局 中村訓子校長、山中清恵教頭、糸川健治事務長
- 4 議 題
 - (1) 会長、副会長の選出
 - (2) 学校運営方針の承認
 - (3) その他
- 5 議事の要旨
 - (1) 会長、副会長の選出
会長に大谷みどり委員、副会長に渡部知和委員を選出した。
 - (2) 学校運営方針の承認
案のとおり承認した。
 - (3) その他
生徒のふるまい指導に対する意見を聴取した。
- 6 会議経過
 - (1) 会長、副会長の選出
 - ・ 会長、副会長とも、委員より立候補または推薦の申し出はなかった。
 - ・ 事務局より案を提示し、案のとおり承認した。
 - (2) 学校運営方針の承認
(普通科キャリアデザインコースのインターンシップについて)
委員から次のような意見があった。
 - ・ 昨年度はどのようなところに出かけたか。
 - ・ 今年度の受け入れ先は決めているか。
 - ・ 受け入れ先の検討や確保について協力できるので、時期や人数などを踏まえ、早めに相談いただきたい。
 - ・ インターンシップは課外活動であるか、または授業の一環として行うものか。これに対して事務局から次のような説明があった。
 - ・ インターンシップは本年度からの取り組みであり、昨年度は実施していない。
 - ・ 本年度の受け入れ先については、一部内諾を得ている事業所もあるが、今後順次、

決定していく。その際には別途相談させていただきたい。

- ・ インターンシップはカリキュラムに組み込んだものであり授業の一環である。

(体験を通じた人との関わりについて)

委員から次のような意見があった。

- ・ コミュニケーション能力を高めるためには、幅広い人との関わりが重要である。ボランティアなど対外的な活動の状況はいかがか。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ ボランティアや市のイベントなどに任意ではあるが都度参加を継続している。今後は新型コロナウイルス感染症対策による行動制限も緩和されるので、部活動単位での参加なども含め、積極的に対外活動を行っていきたい。

(留学生の受け入れについて)

委員から次のような意見があった。

- ・ 現在、留学生の受け入れは行っているか。
- ・ 交換留学について支援制度もあるので検討されてはいかがか。

これに対して事務局から次のような説明があった。

- ・ 現在、留学生の受け入れはない。
- ・ 国際交流事業として中国・杭州市の学生との交流は継続しているが、近年はコロナ禍によりオンライン形式に留まっている。
- ・ 交換留学については支援制度や受け入れ態勢などを含めて検討したい。

(3) その他

事務局から生徒のふるまいに対する指導について次のように委員の意見を求めた。

- ・ 身なりやふるまいについて、社会で通用するようしっかりと指導したい。家庭や地域も含め、どのような指導ができるのか意見を伺う。

これに対して委員から次のような意見があった。

- ・ 親にも指導の必要性を理解してもらい、家庭での指導を行うことも大切。
- ・ 画一的、一方的に指導するだけではなく、なぜそのようなふるまいが必要なのか、いっしょに議論することも必要。
- ・ ファッションに敏感な年頃でもある。親もその年頃にはそうだったのではないか。社会に出てから気づくこともあったと思う。自らの経験も踏まえ、学校とPTAが連携して指導していけるとよい。
- ・ 一般企業等でも接遇やマナー研修は行われている。キャビンアテンダントなど生徒が憧れるキャリアを講師に招いた研修会をしてはどうか。
- ・ 親から言われるだけより、生徒同士で議論することも必要。
- ・ 行き過ぎたファッションの危険性についても認識してもらいたい。

7 事務局等

松江市立皆美が丘女子高等学校 電話 0852-39-0216